十小だより

令和７年１月８日
第９号
府中市立府中第十小学校

昨年のメインテーマは「防災」、今年のメインテーマは「地球環境」

校長　草刈　あずさ

令和７（２０２５）年がスタートしました。新年の始まりは、背筋が少し伸び、気持ちも新たに、今年こそは「○○をがんばるぞ」と決意をもつきっかけとなります。子どもたちも今年の目標や新学期のがんばりたいことを考えているのではないでしょうか。

私の令和６（２０２４）年を振り返ると、メインテーマは「防災」でした。新年のスタートの１月１日、能登半島地震が発生しました。「確か先生たちで北陸方面に帰省したり、旅行したりしている先生がいたはず。」「年末年始だから、十小の子どもたちや保護者の方でも、もしかしたら北陸にいる人がいるのではないか。」と焦り、安否確認の連絡を入れようと思いましたが、市内の校長先生方に相談して、ひとまず教職員の安否確認だけをして、子どもたちについては始業式を待って、聞き取りやカウンセリングを行いました。３月には宮城県の東日本大震災の復興をテーマにした資料館、８月には能登半島の被災地、１２月には神戸にある阪神淡路大震災の資料館を訪れました。スクールコミュニティ協議会やＰＴＡの皆さま、市役所の担当者の方のご協力をいただいて避難所開設訓練も行いました。

では、令和７（２０２５）年のメインテーマは何か。「地球環境を守るためにできること」にしようと考えています。私は暑がりなので、年間の半分がクールビズ期間であり、上着を着用しなくてよいということは個人的にはありがたい話ではあります。しかしながら、５月から１１月まで夏日があったり、１月にいちょうが色づいていたりするなど、地球温暖化を年々実感する状況に危機感がつのります。本校では、昨年度から運動会まではスポーツドリンクや塩分チャージブレットを個人で管理して飲食することを認めたり、今年度は、運動会を９月から１０月に動かしたり、ミストシャワーを設置したり、体育館での運動企画を実施したりするなど、熱中症対策を講じながら、子どもたちの活動の保障に努めてきました。コロナ禍の失われた３年間を教訓に、子どもたちがその年代に体験した方がよいことを自粛させざるをえなかったことの大きなマイナスを繰り返さないようにという思いで。今は、できるだけ登下校の荷物を減らすことができないか、いわゆる置き勉のための棚置きのファイルを買い足したり、机の中に入れたままにする前提で机を移動しない掃除方法を試したりしているところです。府中市教育委員会でも、来年度から熱中症防止対策を強化するということですので、一層、子どもたちの安全と教育活動を守っていきたいと思っています。

といった教育活動の工夫をすることが車輪の片方だとすると、もう一方は地球温暖化にストップをかける地球環境を守る取組の推進と考えています。「ゼロカーボン宣言」「ゴミ０宣言」など行政の働きもありますが、学校の中で大人も子どもも取り組めることとして、①リサイクル紙と雑紙の分別の徹底によるゴミの削減　②ドアや窓閉め、消灯などによる節電　③節水　などが考えられます。残念なことに、市内小学校で電気の使用量が一番多いのが本校という実態もあります。学習に集中できるように教室の暖房や冷房を使用することは、どんどん推奨していますが、②ドアや窓閉め、消灯などの節電　は十分に取り組めていませんでした。子どもたちがこれから生きる未来の地球の環境を守るために、みんなで気を付けていきたいと思います。①②③については、ご家庭でも同様ではないでしょうか。ぜひ、ご家庭でも子どもたちに声をかけて意識づけていただきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。